



2026年5月期 第1四半期決算説明資料 (2025年6月1日～2025年8月31日)

2025年10月10日

小津産業株式会社

証券コード7487

前年同期比 売上高微増、利益面は減益

売上高： 2,669百万円 対前期比 +94百万円

国内外のAI関連需要および国内コスメティック需要は堅調に推移
除染布(五大力)の大きな採用実績がなかったものの、OEMのウェット製品の販売が
好調だったため、前年同期比微増

売上総利益： 861百万円 対前期比 △53百万円

除染布(五大力)の大きな採用実績がなかった等の理由で減益

営業利益： 150百万円 対前期比 △73百万円

人材確保や新規事業開発等へ戦略的に投資した結果減益

経常利益： 238百万円 対前期比 △20百万円

受取配当金、為替差益の増加等により減益幅の縮小

親会社株主に帰属する

四半期純利益： 164百万円 対前期比 △22百万円

経常利益の減益により減益



1. 2026年5月期 第1四半期決算概要

3

2. 2026年5月期 業績見通し

7

3. 各事業分野の主要動向

11

4. 参考資料

22



1. 2026年5月期 第1四半期決算概要

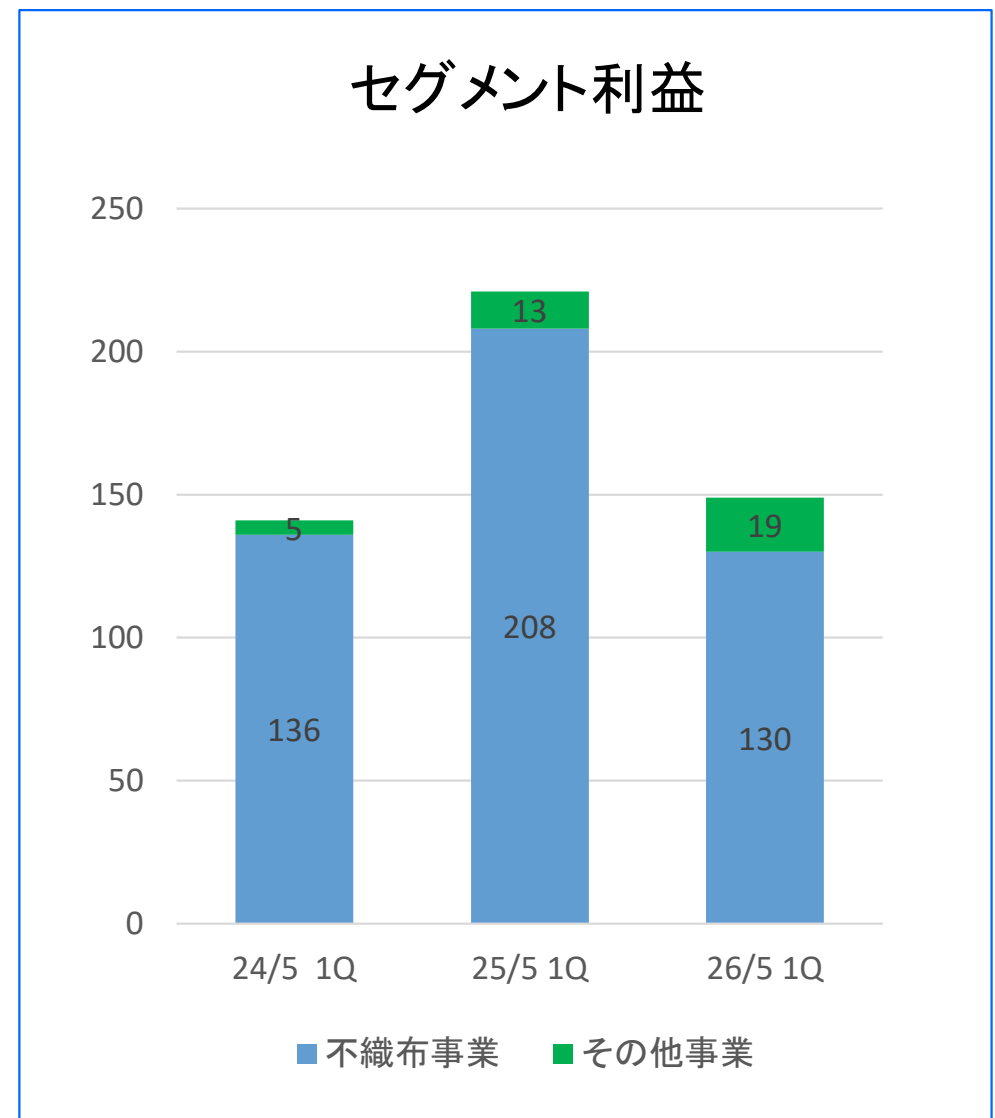
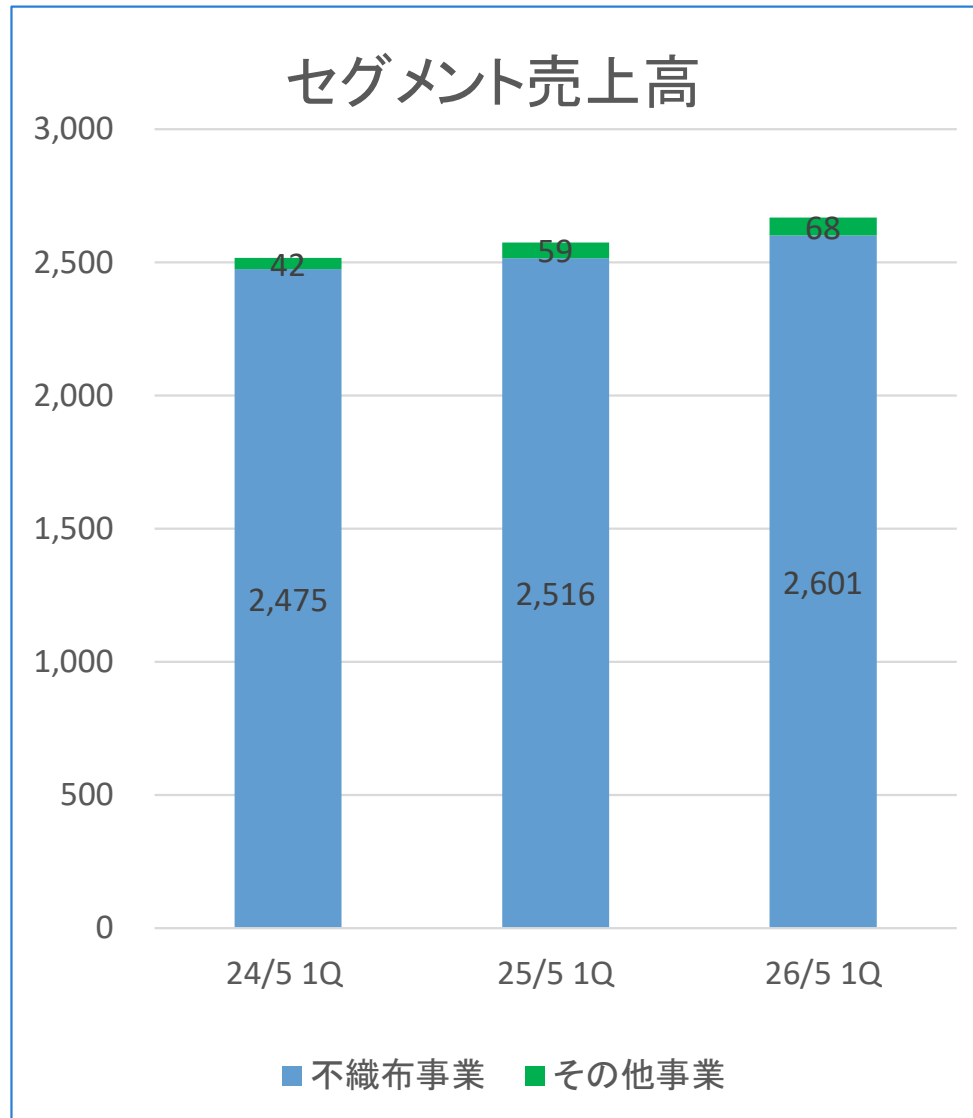


業績のポイント

- 前年同期比、売上高は微増、利益面は減少
- 国内外ともAI関連需要は堅調に推移 OEMのウェット販売が好調
- 人材確保や新規事業開発に戦略的に投資した結果、営業利益等は減益

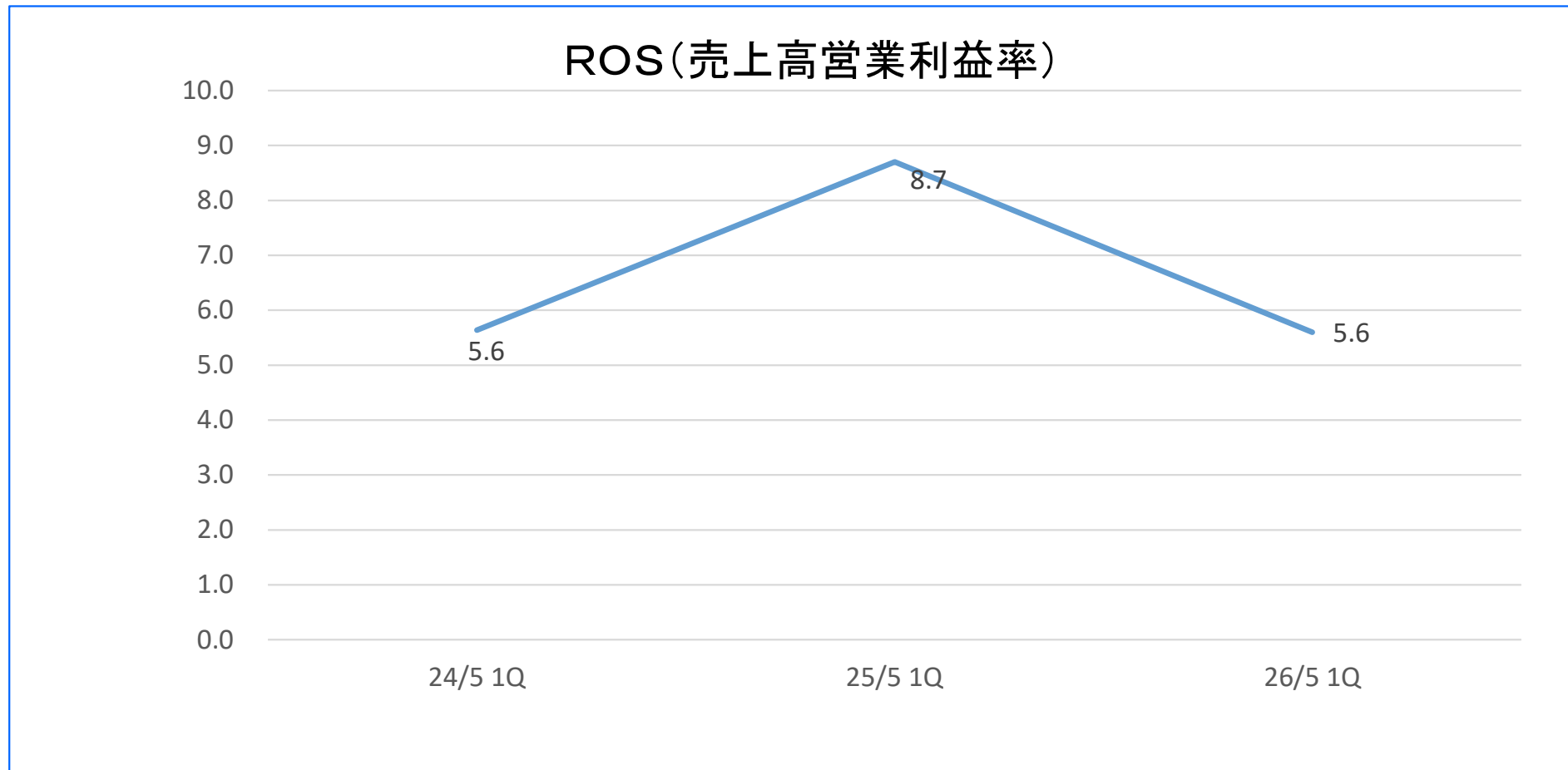
(百万円)	25／5期		26／5期		前年同期比
	1Q実績	構成比	1Q実績	構成比	増減額
売上高	2,575	100.0%	2,669	100.0%	94
売上総利益	915	35.5%	861	32.2%	△53
販売費及び一般管理費	691	26.8%	710	26.6%	19
営業利益	224	8.7%	150	5.6%	△73
経常利益	259	10.6%	238	8.9%	△20
親会社株主に帰属する 四半期純利益	186	7.2%	164	6.1%	△22

不織布事業＋その他事業の業績推移





経営指標の推移



- 除染布(五大力)の大きな採用実績がなく、人件費等販管費の増加を主因に第1QのROS(売上高営業利益率)は前年同期比減少
- 長期ビジョンで掲げる目標達成に向け、人材確保、市場調査・研究開発費等に戦略的に投資し、土台づくりに注力



2. 2026年5月期 業績見通し



業績予想概略

売上高:10,300百万円 前期比+80百万円

- 好調なAI関連需要の取込み等に注力
先行き不透明のため、売上高は横ばいを見込む

営業利益:290百万円 前期比△100百万円

- 長期ビジョンの目標達成に向け、人材確保、市場調査・研究開発等へ戦略的な投資継続
販管費の増加により減益を見込む
販売費及び一般管理費:前期比+218百万円

(百万円)	25／5期		26／5期		前期比
	実績	構成比	予想	構成比	増減額
売上高	10,220	100.0%	10,300	100.0%	+80
営業利益	430	4.2%	330	3.2%	△100
経常利益	559	5.5%	460	4.5%	△99
親会社株主に 帰属する当期 純利益	408	4.0%	290	2.8%	△118

2026年5月期 連結業績進捗状況



(百万円)	業績予想	1Q実績	進捗率
売上高	10,300	2,669	25.9%
営業利益	330	150	45.4%
経常利益	460	238	51.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	290	164	56.5%

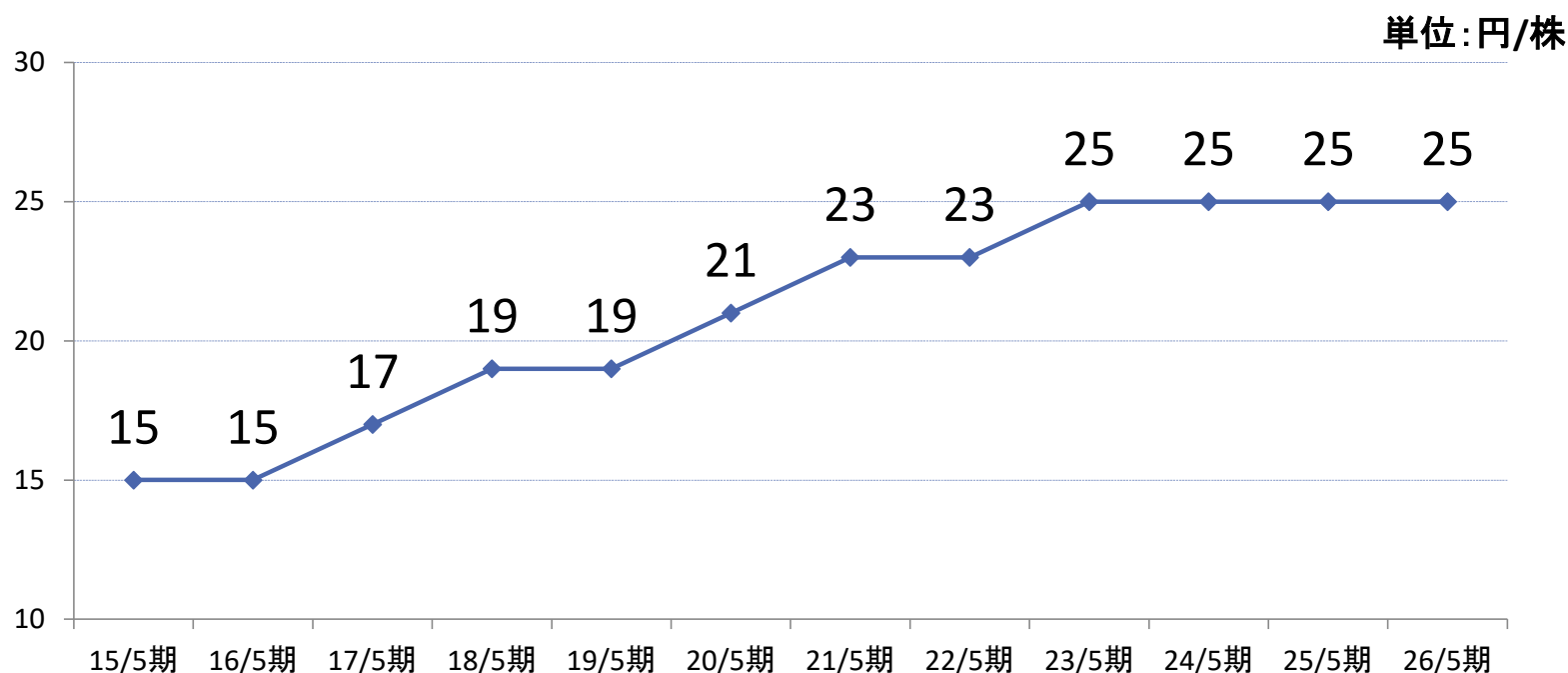
株主還元方針

株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の確保を総合的に勘案し、株主還元を行います。

加えて、株主さまへの利益還元を充実するため、業績に多大な影響を与える事象の発生がないかぎり減配は行わず、増配を目指して業績向上に努めます。

現時点においては、2025年5月期と同様の、一株あたり25円の配当を予定しております。

【配当金推移】





3. 各事業分野の主要動向

第一次中期経営計画2027（2024年7月発表）



第一次中期経営計画2027基本方針

- 長期ビジョン「OZU Innovation2034」の実現のための土台づくり
“自ら製品を企画・開発・生産する機能を備えた商社”への発展を目指す
- 発展を支える地道な活動の実施
お客さまニーズ等の情報収集活動の展開
外部環境変化に的確・迅速に対応

第一次中期経営計画2027計量計画

- 人材確保、市場調査、研究開発費等に戦略的に予算を充当
- 新設した事業戦略室にて、新用途・新機能の開発、新規事業の探索を推進

<2027年5月期計画>

売上高 : 10,500百万円

営業利益: 300百万円

不織布事業(分野)	事業の概況
クリーン分野 (電子・食品・製薬等)	半導体、自動車、製薬、食品工場等の製造現場で使用される不織布製品の企画・販売 日本を始め、アジアを中心に先端技術産業を側面からサポート
ウェルネスケア分野 (医療・介護・コスメティック等)	病院・介護施設向け感染対策製品や防災製品および国内外の化粧品メーカーのお客様 ブランドの商品を企画・製造販売
エコプロダクツ分野 (鉄鋼・電力・建設等)	インフラを支える製造環境の改善製品や除染関連製品を販売 「エコ」をキーワードに幅広い環境対応製品の企画・販売を推進
コンシューマー分野 (一般消費者向け)	マスク・ウェット製品等の一般消費者向け製品の企画・販売 YoutubeなどのSNSを活用し、商品のPRや認知度アップに努める
小津(上海)貿易有限公司	中国における販売・購買の拠点 中国でのクリーン分野製品の販売や原材料購買を推進
ディプロ	小津グループの生産拠点 化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品を生産
日本プラントシーダー	農業の生産性を高める「シーダー農法」製品を展開 省力化、生産性向上の手助けとなる製品を開発・展開
その他事業	事業の概要
除菌関連事業 (エンビロテックジャパン)	食品添加物として過酢酸製剤を販売(米国FDA認証、2016年厚労省認可) フードロス削減に繋がる過酢酸製剤の販売を推進
不動産賃貸業	不動産賃貸事業を営む

事業の概要

半導体・自動車・食品・航空・製薬等、製造現場の清拭ワイパーとして不織布を展開
様々な製造現場に、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約35% ※連結 2025年5月期業績ベース

第1四半期までの実績

- ・ 中国市場における液晶や携帯等向けの販売が伸び悩んだものの、国内外ともにAI関連は堅調に推移

売上高、利益面ともに前年同期比横ばい

今後の取り組み

- ・ 需要旺盛の継続が予想されるAIやデータセンター関連への拡販
- ・ 適切なコスト対応・代替品対策を実施
- ・ エンビロテックジャパンと連携し、食品分野への新規販売先を開拓
- ・ 中国から東南アジアへの生産シフトに伴い、東南アジア市場へ注力

【取扱製品例】

「ワイパー(ベンコット®)」



「航空用ワイパー」



「厚手紙ワイパー」



「除菌ウェットワイパー」



※「ベンコット®」は旭化成の登録商標です。

事業の概要

不織布と加工の技術をより、発展させ、生き生きとした日常生活に貢献
高品質な医療・介護製品、スキンケア商材を開発し、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約25% ※連結 2025年5月期業績ベース

第1四半期までの実績

- ・除菌ウェット製品の需要は堅調に推移
 - ・コスメティック製品も国内販売が安定
- 売上高は前年同期比増加、利益面は横ばい

今後の取り組み

- ・在宅介護製品、防災備蓄製品の開発・拡販
- ・メディカル商材を美容分野に、コスメ商材を医療・介護分野に製品展開を継続し、ウェルネスケア製品の開発へ繋げていく
- ・コンシューマー営業部主導のECサイトで製品取扱も視野に入れる

【取扱製品例】

「ワイパー」



「流せるおしりふき」



「フェイスマスク」



「ウェットシート」



事業の概要

インフラ支える製造環境の改善や除染関連事業で社会に貢献
生活基盤を支える領域に、機能性を持つ製品を展開し、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約5% ※連結 2025年5月期業績ベース

第1四半期までの実績

- ・工場向け消耗資材の販売が堅調に推移
- ・反面、除染布(五大力)の大きな採用実績なし

売上高、利益面ともに前年同期比減少

今後の取り組み

- ・環境対策品オイルティカーを軸とした環境にやさしい製品を幅広い分野に拡販
- ・除染布事業の安定化を目指し、新規採用、リプレイス需要の安定的な取込みを目指す
- ・「エコ」をキーワードとした新製品開発

【取扱製品例】

「油吸着材(オイルティカー)」



「汗拭きシート(ノアクールシートC1000)」



「除染布(五大力)」



事業の概要

新しい機能を開発・強化、人に優しい製品で生活に貢献
機能性を持たせた不織布製品を通じて、日常生活に「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率 約3% ※連結 2025年5月期業績ベース

第1四半期までの実績



今後の取り組み

- ・マスク販売の安定した需要が続き、ドラッグストア等向け除菌ウェット製品が堅調に推移

売上高は前年同期比増加、利益面も改善

- ・株式会社ディプロ製のウェット製品、マスク製品等の拡販
- ・現在の商品カテゴリーにとらわれない不織布コンシューマー製品開発継続
- ・新たな販売網であるECサイトの立上げと本格稼働

【取扱製品例】

「マスク(マスメイク)」



「除菌ウェットワイパー(ケアウィル®)」



「メガネふき」





事業の概要

中国における販売・生産・購買の拠点

中国でのクリーン分野製品の販売や原材料購買を通じ、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約3% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第1四半期までの実績



今後の取り組み

- ・半導体関連需要が堅調に推移
- ・光学向けの販売も順調

売上高、利益面ともに前年同期比増加

- ・半導体関連企業、光学関連企業を中心に営業活動継続
- ・購買拠点として、中国不織布メーカーの情報収集に引き続き注力
- ・グループ会社（小津産業、ディプロ）向けの製品購入窓口機能の強化

事業の概要

小津グループの製造拠点

化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品を生産し、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約15% ※連結 2025年5月期業績ベース

第1四半期までの実績

- ・ OEM品の販売が好調に推移

売上高は前年同期比増加、
効率化に努めた結果、利益面も改善

今後の取り組み

- ・ 製品ラインナップ拡充と、小津産業との連携による販売強化
- ・ 企画・開発力の強化、製造機能の活用・拡充による高性能製品開発
- ・ 生産性および品質の向上と原価低減の実現
- ・ 小津産業とのグループ購買機能の確立

【工場全景】



【当社設備事例】



【取扱製品例】

「高濃度アルコール除菌シート」



事業の概要

農業の生産性を高める「シーダー農法」製品を展開
省力化、生産性向上の手助けとなる製品を開発・展開し「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約10% ※連結 2025年5月期業績ベース

第1四半期までの実績

- ・海外販売が好調に推移したものの、国内での資材販売が苦戦。

売上高は前年同期比増加、利益面は減少

今後の取り組み

- ・きめ細かい対応、播種機販売を起点とした主力製品の拡販
- ・シーダー農法対象作物、新規マシン開発の加速化
- ・新規事業部を設置、小津産業と連携を強化し、新規事業の探索に注力

【取扱製品例等】

「シーダーマシン(あけマルくん®)」



「シーダーテープ」



「東北営業所」



事業の概要

食品添加物の過酢酸製剤を販売（米国FDA認証、2016年厚労省認可）
フードロス削減に繋がる過酢酸製剤の拡販により、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率 約2% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第1四半期までの実績

- ・ 過酢酸製剤の効用訴求活動の継続実施により新規採用先増加

売上高、利益面ともに前年同期比増加

今後の取り組み

- ・ 食品殺菌、畜産分野の防疫対策用途としての過酢酸製剤の拡販
- ・ 更なる業容拡大のため、データ・ノウハウ・現場力の蓄積
- ・ ノウハウのある代理店、セミナー・Web会議の活用、優先順位をつけた効率的効果的な営業活動を一層強化

【取扱製品例等】



※過酢酸製剤使用例



※泡除菌剤パーサンフォーム使用例



「過酢酸製剤（パーサン®）」



4. 参考資料

2026年5月期 第1四半期連結貸借対照表



(百万円)	25/5期 5月末	26/5期 8月末	増減額
流動資産	13,986	13,938	△47
固定資産	12,427	12,769	341
総資産	26,414	26,707	293
流動負債	3,878	3,778	△99
固定負債	3,316	3,477	160
負債合計	7,194	7,255	60
純資産	19,219	19,452	232
自己資本 比率	72.4%	72.4%	—

主な増減要因

■ 資産	
現金及び預金	△228
投資有価証券	403
■ 負債	
その他の流動負債	△72
繰延税金負債	161
■ 純資産	
その他有価証券評価差額金	269

- 1653年(承応2年)創業の和紙問屋を起源とする「紙と不織布」の製造商社
- 現在では、クリーン分野、ウェルネスケア分野、エコプロダクツ分野、コンシューマー分野などを展開
- 機能性不織布製品の企画開発から製造・販売までをメインとした幅広いサービスを提供



小津産業会社概要



会社名

小津産業株式会社

本社所在地

東京都中央区日本橋本町3-6-2

創業

1653年(承応2年)

設立

1939年(昭和14年)12月6日

資本金

13億2,221万円

証券コード

東証スタンダード 市場 7487

事業内容

不織布・紙製品等の販売・加工・ウェット製品製造、
輸出入および過酢酸製剤販売

従業員数

連結:285名 単体:97名(2025年5月31日現在)

役員等

代表取締役 社長執行役員	柴崎 治
取締役 常務執行役員	村尾 茂
取締役 常務執行役員	三崎 剛志
取締役 上席執行役員	立野 智之
社外取締役	山下 俊史
社外取締役	阿部 光伸
社外取締役	青木 常子
常勤監査役	近藤 聡
社外監査役	深山 徹
社外監査役	山本 千鶴子
上席執行役員	山田 拓
執行役員	中野 伸昭

関係会社

連結子会社	オヅテクノ(株) 日本プラントシーダー(株) (株)ディプロ 小津(上海)貿易有限公司 エンビロテックジャパン(株) (株)旭小津
持分法適用関係会社	アズフィット(株)



本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : soumu@ozu.co.jp

<https://www.ozu.co.jp/>

本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。